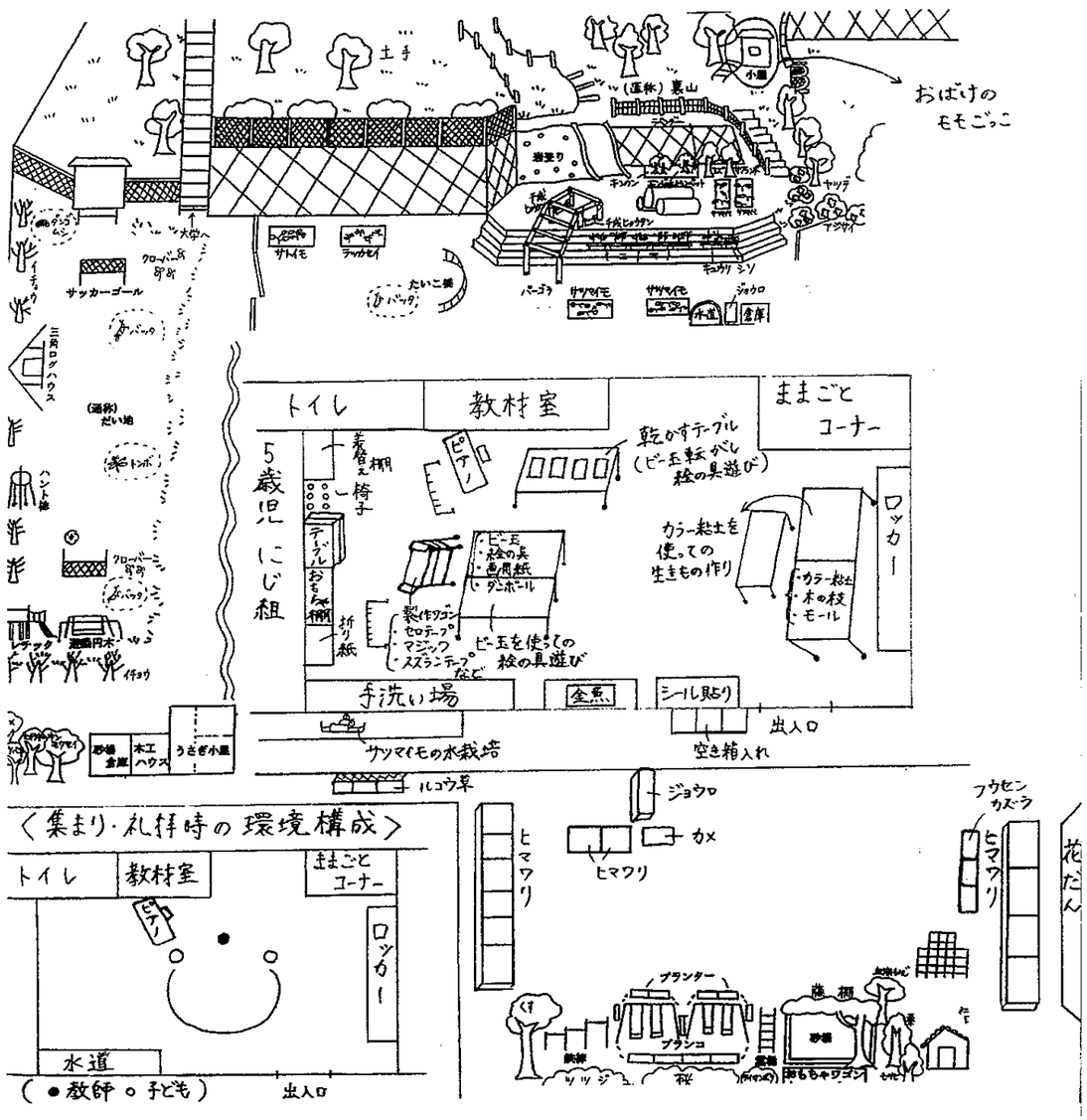
保　育　案

２００５（平成１７）年　８　月　３　日　（水）	４　　歳児　　ひつじ　組	男児　　１０名　　女児　　８名　　計　１８名	担任名	森原　歩美

子どもの姿	・７月下旬からダンボールの素材に親しんできた子ども達は、ダンボールや廃材を使ってのトンネルや家作りの続きを楽しみに夏期保育に参加している。ダンボールを長くつなげて、大きいトンネル作りをしたり、夏祭りのお化け屋敷を思い出したりする子どももいる。 ・一学期に粘土遊びや泥団子作りを楽しむ姿が見られた。カラー粘土を用意すると好きな昆虫の形をよく見て作る子どもや、特に女の子は花などきれいなものを作りたがる姿が見られた。 ・飼っている虫や栽培物の生長を喜び、世話をしたり言葉をかけたりする姿がある。 ・夏期休暇中の登園である事や、多くの見学者がいらっしゃることで気持ちが高まり、ふざけたり、はしゃいだりする子どもの姿も見られる。	本日のめあて	・　夏休みの間も子ども達、栽培物や飼育物のことを守ってくださっている神様に感謝する。 ・　身近にある様々な素材を使って、友達と一緒に作ったり遊んだりする楽しさを味わう。また、共通のイメージを持ち、遊びを進めていく。 ・　栽培物の生長を皆で喜び、必要な世話を見つけて、進んでしようとする。

時間	生活の流れ、子どもの活動（予想）	教師の留意点、援助、個別への配慮(☆印)など
8：40	○登園する ・友達や教師と挨拶を交わす ・身辺整理をする 　シールを貼る 　コップ・タオル・帽子・靴を片付ける ○好きな遊びをする ・ヒマワリ・サツマイモ・ルコウソウ・フウセンカズラ ・クワガタ・カブトムシ・カメの世話をする （保育室・戸外） ・ダンボール製作（トンネル・家）（ことり組） ・おばけのモモごっこ ・カラー粘土や木を使って、生き物作り ・ビー玉を使っての絵の具遊び	・登園してくる子ども達一人ひとりを笑顔で迎え入れ視診していく。 ☆A（男児）B（男児）は身辺整理に時間がかかる事が予想される。次の活動へスムーズに向かう事ができるように言葉がけをし、見守る。 ・植物の世話をする時にヒマワリと背比べをしたり、サツマイモの葉が増えている事を話したりし、生長している事を皆で喜び、自分達に出来る事はないか見つけて進んでできるように導いていく。 ・水が足りていない時のヒマワリの様子を写真に撮り、子ども達に見せる事で、どれだけ水が大切であるか気付ける様にする。 ・生き物の世話の仕方や餌の与え方を伝えたり、育て方を表記したりしておき、自分から進んで世話ができるようにする。
9：50	○片付けをする ・ 排泄・手洗い・うがいをする・水分補給をする ○朝の集まりをする ・わらべ歌遊び「おてぶしてぶし」をする ・出席、欠席の友達を知る ・誕生児のお祝いをする ○礼拝をする ・奏楽を聴く　・お祈りをする ・聖句を暗誦する ・讃美歌「あの空はどうして青い」を歌う ・聖話「カマキリチョンの探検ごっこ」を聞く ・後奏を聴く	・前日までの遊びの様子を把握しておき、新しいダンボールやスズランテープなど必要なものを準備しておく。 ・遊びの中で友達の思いを聞いたり、自分はこうしたいと自分の思いを伝えたりしているかなどを見守り、友達と遊びを進めていく楽しさを感じる事ができるようにする。 ・自分が遊んだものだけでなく全員で片付け、気持ち良く過ごせるようにする。 ・好きな遊びから、朝の集まりへ気持ちの切り替えがスムーズにできるように、また落ち着いて参加できるように子ども達の好きなわらべ歌遊びをする。
10：30	○降園準備をする ○帰りの集まりをする ・夏期保育で楽しかったことを話す ・日曜日の教会学校のことを聞く ・歌「ヤッホッホ夏休み」を歌う ・今日、捕まえた虫をかえしに行く。 ・歌「ぼくのミックスジュース」を歌う ・お祈りをする ・友達や教師と挨拶を交わす	☆B（男児）C（男児）D（男児）は、見学者が来られることで、気持ちが高まる事が予想される。落ち着いて集まりや礼拝ができるようにスキンシップをとり、気持ちが落ち着くように配慮する。 ・礼拝の中で幼稚園に来る事ができた喜びや休んでいる友達の事を覚えて、神様にお祈りをする。 ・虫を逃がしたくないという子どもには、虫にも住む場所があることを伝え、子ども達が自分からかえす事ができるようにする。 ・子ども達やたくさんの見学者が、無事に帰路に着くようにお祈りする。
11：00	○降園する	・子ども一人ひとりを保護者に確実にお渡しして見送りをする。

環　境　の　構　成